



平成23年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年5月13日

上場会社名 株式会社 コナカ
コード番号 7494 URL <http://www.konaka.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 湖中 謙介
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 沼田 孝

TEL 045-825-7700

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	36,283	4.3	2,598	227.2	3,409	413.5	551	
22年9月期第2四半期	37,920	6.4	794	29.5	664		1,437	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	18.94	
22年9月期第2四半期	49.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	73,396	33,121	45.1	1,137.29
22年9月期	73,405	32,518	44.3	1,116.57

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 33,121百万円 22年9月期 32,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期		0.00		0.00	0.00
23年9月期		0.00			
23年9月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,567	1.2	2,116		3,509		1,184		40.65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響による不確定要因が多く、予想が困難な状況であることから平成22年11月12日に公表しました業績予想を変更せずに記載しております。なお、影響額につきましては現在精査中であり、連結業績予想に関して重大な影響が見込まれる場合には速やかに開示いたします。

4. その他 (詳細は、[添付資料] P3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期2Q	31,146,685株	22年9月期	31,146,685株
期末自己株式数	23年9月期2Q	2,023,747株	22年9月期	2,023,300株
期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期2Q	29,123,171株	22年9月期2Q	29,123,791株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業で収益が回復基調にあるなど明るい兆しがあるものの、個人消費は依然として低調に推移し、さらに平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、国内経済に大きな影響を与え、衣料品小売業界におきましては生活防衛意識や節約志向により個人消費は不透明感を増し、厳しい経営環境となっております。

このような経済状況のもとではありますが、弊社グループにつきましては、「就活Vフェア」、「フレッシュアーズVフェア」などのキャンペーンや、レディーススーツの新ブランド展開などにより、若年層のお客様の利用拡大に努め、当社独自のシャワークリーテクノロジーを採用した「V-SUIT」は大変ご好評を得ることができました。しかしながら、フレッシュアーズ商戦のピークである3月に発生した東日本大震災の影響を大きく受け、グループの一部の店舗では営業の休止を余儀なくされるなど一時的に厳しい状況が続きまして。

グループの店舗数につきましてはSUIT SELECT TACHIKAWA(東京都立川市)をはじめ3店舗出店する一方で、契約満了に伴う3店舗を退店したことにより400店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は362億83百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は25億98百万円(前年同期比227.2%増)となりました。加えて、デリバティブ評価益10億21百万円及び為替差損6億80百万円を計上することにより経常利益は34億9百万円(前年同期比413.5%増)となりました。一方、減損損失13億1百万円及び資産除去債務に関する会計基準の適用により、特別損失に6億71百万円を計上し、四半期純利益は5億51百万円(前年同期は四半期純損失14億37百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は733億96百万円となり、前連結会計年度末と比較して8百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が38億50百万円増加したものの商品及び製品が15億42百万円、有形固定資産が16億45百万円、敷金及び保証金が9億79百万円減少したことによるものであります。

負債は402億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億11百万円減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が24億69百万円増加したもののデリバティブ負債が10億21百万円、借入金が22億23百万円、負ののれんが4億50百万円減少したことによるものであります。

純資産は331億21百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億3百万円増加となりました。この結果、自己資本比率は45.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、短期・長期借入金の返済による支出やデリバティブ評価益等により、一部相殺されたものの仕入債務の増加、たな卸資産の減少、減損損失及び税金等調整前四半期純利益の計上等により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は105億65百万円(前年同期比15億78百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は66億14百万円(前年同期は43億22百万円の増加)となりました。これは主にデリバティブ評価益10億21百万円があったものの仕入債務の増加21億70百万円、たな卸資産の減少14億87百万円、減損損失13億1百万円及び税金等調整前四半期純利益7億12百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は3億29百万円(前年同期は2億23百万円の減少)となりました。これは主に敷金及び保証金の回収による収入が2億32百万円あったものの、貸付による支出2億22百万円及び有形固定資産の取得による支出2億50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は22億55百万円(前年同期は16億6百万円の減少)となりました。これは主に短期・長期借入金の返済による支出22億23百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災により、国内経済に与える影響や消費者の動向、また電力不足を起因とした計画停電による営業時間の短縮など、経営環境の変化が激しく、現在影響額を精査中であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部実地棚卸を省略し、前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定の方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

前連結会計年度以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測等に当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は16百万円、経常利益は17百万円、税金等調整前四半期純利益は6億89百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「敷金及び保証金」が6億54百万円減少しております。

企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,582	6,732
受取手形及び売掛金	1,987	1,326
有価証券	160	160
商品及び製品	17,396	18,938
原材料及び貯蔵品	116	117
繰延税金資産	2	3
その他	944	860
貸倒引当金	3	3
流動資産合計	31,188	28,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,884	12,931
土地	13,106	13,580
その他(純額)	944	1,068
有形固定資産合計	25,934	27,579
無形固定資産		
のれん	16	14
その他	756	795
無形固定資産合計	773	810
投資その他の資産		
投資有価証券	1,688	1,674
敷金及び保証金	9,618	10,597
繰延税金資産	-	8
その他	4,614	4,606
貸倒引当金	285	8
投資損失引当金	135	-
投資その他の資産合計	15,501	16,878
固定資産合計	42,208	45,267
資産合計	73,396	73,405

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,882	4,412
短期借入金	11,048	6,566
1年内返済予定の長期借入金	3,232	9,160
未払金	310	345
未払法人税等	164	230
賞与引当金	244	219
デリバティブ負債	7,401	8,422
その他	2,031	1,461
流動負債合計	31,316	30,818
固定負債		
長期借入金	3,083	3,861
長期未払金	64	119
退職給付引当金	1,143	1,091
役員退職慰労引当金	91	99
ポイント引当金	1,749	1,794
負ののれん	947	1,397
長期預り保証金	610	642
その他	1,268	1,062
固定負債合計	8,959	10,068
負債合計	40,275	40,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	14,745	14,745
利益剰余金	15,993	15,441
自己株式	3,338	3,338
株主資本合計	32,705	32,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	415	363
評価・換算差額等合計	415	363
純資産合計	33,121	32,518
負債純資産合計	73,396	73,405

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	37,920	36,283
売上原価	19,223	17,902
売上総利益	18,697	18,381
販売費及び一般管理費	17,902	15,782
営業利益	794	2,598
営業外収益		
受取利息	35	36
受取配当金	18	19
不動産賃貸料	219	228
デリバティブ評価益	-	1,021
負ののれん償却額	450	450
雑収入	100	87
営業外収益合計	823	1,842
営業外費用		
支払利息	178	150
デリバティブ評価損	511	-
為替差損	-	680
雑損失	264	201
営業外費用合計	954	1,031
経常利益	664	3,409
特別利益		
固定資産売却益	0	5
債務免除益	-	52
貸倒引当金戻入額	52	0
その他	8	7
特別利益合計	61	66
特別損失		
固定資産除却損	128	11
投資有価証券評価損	114	20
減損損失	1,040	1,301
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	671
災害による損失	-	262
その他	94	495
特別損失合計	1,378	2,763
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	652	712
法人税、住民税及び事業税	93	91
法人税等調整額	738	69
法人税等合計	832	161
少数株主損益調整前四半期純利益	-	551
少数株主損失()	46	-
四半期純利益又は四半期純損失()	1,437	551

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	652	712
減価償却費	982	802
減損損失	1,040	1,301
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	671
災害損失	-	262
負ののれん償却額	450	450
デリバティブ評価損益(は益)	511	1,021
貸倒引当金の増減額(は減少)	52	276
退職給付引当金の増減額(は減少)	59	51
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4	8
ポイント引当金の増減額(は減少)	132	44
賞与引当金の増減額(は減少)	115	24
長期貸付金の家賃相殺額	150	170
敷金及び保証金の家賃相殺額	173	154
投資有価証券評価損益(は益)	114	20
有形固定資産売却損益(は益)	0	5
有形固定資産除却損	128	11
受取利息及び受取配当金	54	56
支払利息	178	150
為替差損益(は益)	59	184
売上債権の増減額(は増加)	910	660
たな卸資産の増減額(は増加)	408	1,487
仕入債務の増減額(は減少)	1,913	2,170
未払消費税等の増減額(は減少)	105	138
その他	866	582
小計	4,594	6,929
利息及び配当金の受取額	21	26
利息の支払額	174	139
災害損失の支払額	-	50
法人税等の支払額	121	180
法人税等の還付額	2	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,322	6,614

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	206
定期預金の払戻による収入	100	200
有形固定資産の取得による支出	270	250
有形固定資産の売却による収入	7	5
有形固定資産の除却による支出	4	44
有価証券の取得による支出	150	149
有価証券の売却による収入	49	149
投資有価証券の売却及び償還による収入	16	29
敷金及び保証金の差入による支出	50	61
敷金及び保証金の回収による収入	86	232
貸付けによる支出	23	222
貸付金の回収による収入	28	18
その他	12	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	223	329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	265	4,482
長期借入れによる収入	-	300
長期借入金の返済による支出	1,177	7,005
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	143	0
その他	18	31
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,606	2,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	184
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,432	3,844
現金及び現金同等物の期首残高	6,554	6,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,987	10,565

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。